

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度第1回

会議概要	
日時	令和7年5月27日（火曜日）午後6時00分から午後7時20分まで
場所	末広公民館 1階 講座室
出席者	委員（12名、正副会長以外は50音順） 村田会長，加藤副会長，泉川委員，大城委員，金澤委員，柴田委員，正部川委員，田畑委員，舘岡委員，早川委員，前川委員、柳澤委員 （欠席者 中山委員，渡瀬委員） 事務局 地域活動推進課 佐々木次長、高桑主査、阿部主査 末広公民館 澤井館長 オブザーバー 地域まると支援員 細矢 説明 議事1 防災課 紺田課長、伊藤主幹、大西主査
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 末広まちづくり推進協議会委員名簿
	資料2 防災課資料（逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト）
	資料3 令和7年度地域活動計画

議事の内容

1 開会

2 事務局挨拶

新年度にあたって、事務局職員から挨拶を行った。

3 委員の紹介

新年度にあたって、新規委員から挨拶を行った。また、継続の委員から自己紹介を行った。

4 防災課から「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」について

資料2により、事業概要、令和7年度スケジュール（予定）などについて、防災課から説明を行った。

- ・令和7年度は、末広地区、川端・北星地区の2地区で実施する。
- ・地区防災会議の委員人選については、市民委員会等に相談して決める。
- ・まち協委員、市民委員会、地区社協、民生委員、包括支援センター、消防団、学校関係者など、およそ15～20名を選定する予定。
- ・第1回の会議は、6月下旬～7月上旬に開催する予定。

委員との質疑応答は次のとおり。

- ・（委員）地区防災会議のメンバーに町内会とあるが、具体的にはどういうイメージか。防災に係る専門部を設置していないので、誰に頼むことになるか。
- ・（委員）末広3地区で36町内会あるので、1人ずつ出ても、それだけで36人になる。市民委員会単位で考えた方が良いのかもしれない。
- ・（防災課）委員の人選については市民委員会に相談して、地区の考え方を尊重していきたい。

5 報告・協議事項

（1）令和7年度地域活動計画について

資料3により、各実行委員会から、以下の説明があった。

・（末広地域まちづくり実行委員会）

末広地域において、令和7年度は引き続き、「末広地域交通安全対策事業」（実施団体：末広地域交通安全対策実行委員会）、「末広地域活動団体PR事業」（実施団体：末広地域まちづくり実行委員会）、「末広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業」（実施団体：末広ふれあ

いスポーツクラブ)、「末広見守りネットワーク担い手連携事業」(実施団体：末広見守りネットワーク実行委員会)の4事業の取組を進めていく。飲み物(食糧費)については令和6年度から廃止したが、令和7年度事業予算に計上していない。各事業において、市の協力度合いが高めな部分について、今後は実行委員会で行える割合を高めていくように努めていく。

- ・(末広地域交通安全対策事業)

市民委員会の交通部長らに委員になって貰って、令和7年度から、実行委員会の委員構成を変更した。第1回の実行委員会を5月13日に開催した。交通安全街頭啓発事業は9月19日実施予定で準備を進めていく。

- ・(末広地域活動団体PR事業)

昨年度までは、A4両面刷りで年4回発行してきたところだが、令和7年度はA3版で内容を濃くしたものの発行も検討中である。年3回程度の発行を予定し、事業を進めてく。

- ・(末広見守りネットワーク担い手連携事業)

今年度は4月に第1回実行委員会を行って、研修会は11月16日開催予定で準備を進めていく。次回の第2回実行委員会は6月に予定している。現在、地域の関係団体などへのお声かけを行っていて、参加いただく委員を増やしていく。

- ・(末広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業)

保護者にはお迎えをお願いしているが、保護者の事情を考慮して、迎え時間を30分延ばして18時30分に変更した。学校から末広ふれあいスポーツクラブについての情報提供をしていただけて、今年度は参加児童数が20を越えて増えた。昨年度は参加児童数がやや少なかったから、スタッフ労力を少し削ろうと思っていたので、ここ2ヶ月はてんやわんや、活気がある。

(2) 地域要望の回答について

参考資料として配付した。

(3) 地域の課題、取組について

- ・末広地域の老人クラブなどで、地区会館を会場に、ボッチャの集まりが開かれている。
- ・気軽に楽しめるということから、老人クラブの運動会にも採用されたりしている。健康づくりにも役立っている。
- ・モルックについて、地域に知ってもらう目的で、企画している。
- ・モルックはルールがやや難しいと言われることがあるが、ローカルルールを取り入れて、やりやすいように工夫している。
- ・コロナ禍の影響もあって、残念なことながら、お祭りのようなイベントがなくなってしまった。子どもからお年寄りまで、気軽に楽しく集えるようなものがあったら、と思う。ふるさと祭り

も、最初は、綱引きとか玉入れみたいなものから始まったことを思うと、スタートは気軽に出来るもので良いように感じている。

- ・小さな事も広がっていければ良いわけで、対抗戦みたいなことも面白いのではないかな。
- ・時間をかけて検討して良いと思うので、宿題として持ち帰って、簡単にできそうなものを出し合ってみるのはどうか。
- ・なくなったものには、それ相応の経過や理由がある。同じように復活させようとするなら、並大抵ではない。
- ・市民委員会としても検討している最中なので、まち協としても似たような検討をしていくときに、それをどう上手く連絡させていけるのか、ということも考えなければならない。
- ・神楽岡地区では、NPOの活躍で盆踊りが復活したというような話を聞いたことがある。
- ・音楽をテーマにして、例えば、「夏の音楽の夕べ」みたいな、小さなレベルから始めてみる、ということはどうだろうか。
- ・企画する人、運営に協力してくれる人、運営に必要な予算、協賛金集めなど、実際に行い得るのかどうかの吟味も必要だ。
- ・末広地域にステージ的なものはあるだろうか。
- ・最初から学校頼みにするのではなくて、小さくはじめて、徐々に高めていくのが良い。
- ・トレーラーハウスのようなものも使えるかもしれない。
- ・吹奏楽の集いとか、まち協の場でも議論していくのは良いことと思う。
- ・イベントに人が集まらないという話も聞くのだが、例えば、フリーマーケット、古い絵本配り、音楽系ならマミーズバンド、趣味のジャズバンドとか、大きくなっていけば、人も集まってくるのではないかなと思う。
- ・コロナ禍も過ぎて、何かを考えたい、探したいという気持ちがある。
- ・担い手の高齢化については、同じようには求め得ないのは明らかで、「育成」ということも大事になってくる。考えること、行動することで、地域のつながりも出来ていくと思う。
- ・アイディア探しには、ほかのまち協の取組も参考にしよう。
- ・東地区は4町内会なので集まりやすい環境として、末広地区、末広中央地区は町内会数も多い。広げていくには労力が必要。
- ・案を募る、ということも良いと思う。若人の参加を期待したいし、参加してくれることで広がっていける相乗効果も期待したい。
- ・末広には小学校と中学校が6校あって、学校と地域のつながりもある程度進んでいる。
- ・働き方改革など、土日のどちらかは必ず休ませるなど、以前とは変わってきている部分がある一方、地域イベントなどには、必要な調整をしながら関わっていきたいと思う。
- ・さまざまな意見が出てくるが、私たちとしては何がしたいと思うのか、煮詰めていく必要がある。何がしたいのか、湧き出るくらいに考えるには、時間が必要。

- ・さまざまな考えや意見を出しあって、いい物はピックアップしていった、どう上手く繋げていくか。
- ・引き続き、意見交換、議論を深めていこう。

6 その他

(1) 次回日程について

令和7年度第2回協議会は8月26日（火）18時～末広公民館で行う。

7 閉会